



文京歩こう会・4月6日例会報告

毎日少しずつ暖かくなるのが感じられ、東京の桜も満開宣言が出されました。寒かった頃と比べ、毎朝起きるのも次第に楽になってゆくのが嬉しいこのごろです。

今回も歴史と文化の散歩道のコースです。新宿御苑駅から新宿駅、都庁を經由して東中野駅まで約7kmを歩きました。コースの最後には神田川の見事な桜を楽しむことができ、大満足の1日となりました。

新宿は久しぶりに訪れましたが、新しい建物が建っていたり、昔と変わらない佇まいのお店があったり、混沌とした雰囲気だけは変わらず街の魅力を作り出しています。行き交う人の姿に外国人が増えたのも時代の変容でしょうか。

新宿駅から都庁へ向かい、新宿中央公園で小休止。桜の木々が花びらを風に揺らせている下で、園児たちが元気に遊ぶ姿がほほえましい空間でした。このあたりが今回のコースの丁度真ん中ほどです。

再開発されたマンションの下を歩くと綺麗な花々が出迎えてくれました。無機質な建物ばかりの中で一層際だって綺麗です。その後、ゆるやかな蜀江坂を登って北上し、昔ながらの道でしょうか、住宅街を縫うようにくねくねした細い路地を歩きました。間違いなく、人生で初めて歩く道です。

ゴール間近に神田川に出ました。川面に枝を垂れる満開の桜！橋の上で立ち止まり写真を撮っている人も見かけられます。これを撮らずして何をか撮らん！最高に春を満喫した例会でした。

次回は5/17(木)歴史と文化の散歩道「砂町葛西瑞江コース」を歩きます。皆様のご参加お待ちしております。

